



# 地域の安心と 笑顔広がる民生委員活動

“あかるく・たのしく・むりをせず”

沖縄県では、平成29年度から民生委員が活動しやすい環境を整備することなどを目的に「民生委員活動活性化事業」を実施しています。

事業2年目となる今年度は、民生委員等を対象に実施した前年度のアンケート調査結果で明らかになった「重要課題」を踏まえ、県内7か所の単位民児協をモデル地区に指定し、支援コーディネーターの派遣による地域の特性に即した支援活動を展開しています。

モデル地区支援では下図の活動プロセスに基づき、「あかるく・たのしく・むりをしない民生委員活動」を目指し各単位民児協における取組をサポートしています。

本紙では、7か所の単位民児協（モデル地区）の取組を紹介します。

## 平成29年度 アンケート調査により 明らかになった重要課題

- ① 個人情報の取扱いルール の 確立
- ② 事務局機能の強化
- ③ 地域における民生委員の役割の整理と明確化
- ④ 人材養成に向けた研修・交流会等の充実
- ⑤ 広報普及啓発活動の充実
- ⑥ 専門機関等との連携の強化

## モデル地区での活動プロセス

### Step1

単位民児協の現状と課題の整理・分析

### Step2

取組むテーマの設定

### Step3

課題解決に向けた実践・活動

### Step4

取組の評価・ふりかえり

## 支援コーディネーター

支援コーディネーターは、モデル地区における課題の整理とその解決に向け、単位民児協の意思決定と行動に寄添い、地域の特性に即した取組をサポートします。



濱里 正史



中山 明子



小阪 亘



宮道 喜一



下地 美香

公益財団法人  
沖縄県労働者福祉基金協会

特定非営利活動法人  
まちなか研究所わくわく

アドバイザー 篠原 辰二

一般社団法人Wellbe Design



沖縄県から事業の受託を受けた、公益財団法人沖縄県労働者福祉基金協会と特定非営利活動法人まちなか研究所わくわくの2者からなる、「沖縄県民生委員活動活性化事業受託コンソーシアム」が支援コーディネーター及びアドバイザーを配置し支援事業を実施します。



# 相談支援活動ヒント集による委員の資質向上を目指す!

## Step1~2

単位民児協の現状と課題の整理分析 ▶ 取組むテーマの設定

### 課題の整理・分析

- ・ 民生委員の資質向上と基盤整備
- ・ 住民を中心に考えた「支援の連携」

### 取組むテーマ



**相談支援活動のヒントになる小冊子の作成による民生委員の資質向上**

## Step3

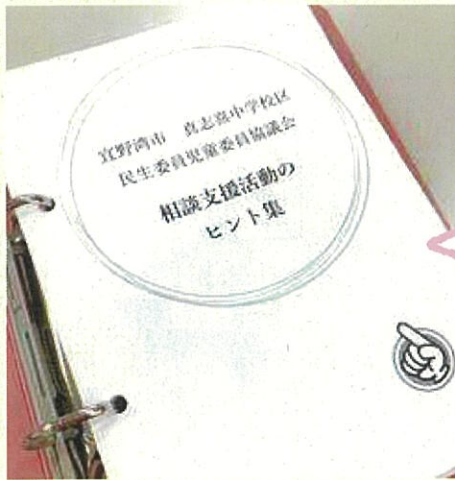
課題解決に向けた実践・活動

定例会や宜野湾市行政担当課等を交えた関係機関会議を通じて、民生委員が個々で相談を受けた際のヒントになる小冊子の作成に取り組んでいます。真志喜中学校区の現状や相談対応事例における課題や解決策、関係機関先などが掲載されています。



▲小冊子に掲載する事例を検討し合う様子

### 完成した小冊子



#### 【掲載内容:仕様A5版29頁】

- 宜野湾市民児連協の組織図と専門部会
- 各单位民児協の担当地区・定数・専門部会
- 真志喜中学校区民児協の地区情報
- 相談対応事例 事例1) 不登校児童・生徒への対応
- 資料集

民生委員と児童委員・主任児童委員の職務と7つのはたらき、主任児童委員と民生委員の関係、民生委員協議会の任務、地域の組織・団体との連携の状況など



会長 高良 謙二さん

小冊子は日々の活動で得た相談事例などを記載し、新任委員を含めた他の委員の**スキルアップ**にも活用します。

基礎情報:定数43名(内、主児委3名) 事務局:社協 モデル地区取組開始:平成30年1月~  
重要課題:③地域における民生委員の役割の整理と明確化、④人材育成に向けた研修・交流会等の充実、⑤広報普及啓発活動の充実、⑥専門機関との連携強化



## 分野別関係機関会議で地域ネットワークを形成!

### Step1~2

単位民児協の現状と課題の整理分析 ▶ 取組むテーマの設定

#### 課題の整理・分析

- ・取組むべき地域課題の内容と範囲を整理
- ・専門機関との連携の強化

#### 取組むテーマ



**専門・関係機関との連携の強化による  
地域ネットワークの形成**

### Step3

課題解決に向けた実践・活動

児童分野の支援機関との連携を強化するため、「関係機関会議」を開催しました。子ども達の現状を理解するために、「学校と民生委員のどちらも、子ども達に関する情報提供後の経過について知りたがっている」「教育と福祉が融合した支援への視点が広がることを期待したい」などといった声があがり、地域における各機関の職務や役割を再度理解・確認する機会となりました。

▼12月4日に行なわれた児童分野の関係機関会議



#### 【参加者】

- 民生委員・児童委員(事務局含む)
- 南風原町子ども課
- 南風原町教育委員会
- 南星中学校長
- 津嘉山小学校長
- 翔南小学校長
- 南風原町社協(CSW)

#### 【検討内容】

- 児童委員としての子ども支援の現状の理解促進
- 民生委員・児童委員と各関係機関の業務・活動との具体的な関わり
- 南風原町における子ども支援に向けた連携



会長 翁長 彰さん

行政や学校現場との関係機関会議をきっかけに、「**民生委員・児童委員と各関係機関が連携していこう**」といっ機運づくりをしていきます!

基礎情報:定数33名(内、主児委3名) 事務局:社協 モデル地区取組開始:平成30年8月~  
重要課題:②事務局機能の強化、④人材育成に向けた研修・交流会等の充実、⑤広報普及啓発活動の充実、⑥専門機関との連携強化



## 読谷村民児協

# 単位民児協増設に向けた組織の再編と事務局体制づくり!

### Step1~2

単位民児協の現状と課題の整理分析 ▶ 取組むテーマの設定

#### 課題の整理・分析

単位民児協が大所帯のため

- お互いの顔や名前がわかりにくい
- 意思疎通がとりにくい
- 全体統制がとりにくい

などといった課題が発生。その一方で、一体感をもった活動は引継ぐ必要がある。

#### 取組むテーマ



### 定例会を機能させるための 中学校区ごとの単位民児協の設置

#### 【確認・調整・検討内容】

- 増設に向けた事務手続きの確認と設立総会などのスケジュールの確認
- 地区割り・定数の検討
- 定例会・役員会・部会の持ち方の検討
- 各委員への周知・理解の促進
- 事務局の役割と分担の確認  
(総務・広報部の新設)

### Step3

課題解決に向けた実践・活動

読谷村民児協の委嘱者数 ※平成30年8月現在

民生委員・児童委員 **64名**  
主任児童委員 **3名**

#### 読谷中学校区 単位民児協

民生委員・児童委員 **33名**  
主任児童委員 **2名**

#### 古堅中学校区 単位民児協

民生委員・児童委員 **31名**  
主任児童委員 **1名**

平成31年4月からの中学校区ごとの単位民児協の設置に向け、①会則検討委員会、②総務・広報委員会、③組織体制人事選考委員会の3つの委員会を設置し、準備を進めています。

また、社協が担っていた事務局業務の一部を新設予定の「総務・広報部会(連絡員・書記)」が担うことを検討するため、「事務局業務の棚卸し」も同時に行いました。



▲民児協増設の意義と、その後の活動運営について理解を深めるための研修

会長 西平 朝二さん



現在の**5つの部会活動の良さ**を残しながら、新たに**2つの中学校区単位民児協の運営**について考えていきます。

基礎情報: 定数68名(内、主児委4名) 事務局: 社協 モデル地区取組開始: 平成30年8月~  
重要課題: ②事務局機能の強化、④人材育成に向けた研修・交流会等の充実

## 国頭村民児協

# 定例会を活用した専門機関との連携!



### Step1~2

単位民児協の現状と課題の整理分析 ▶ 取組むテーマの設定

#### 課題の整理・分析

- ・地域のスクールソーシャルワーカーや専門職、専門機関との連携が図りにくい

#### 取組むテーマ



**委員の負担軽減と協議会機能を高める関係機関との連携の強化**

### Step3

課題解決に向けた実践・活動

専門機関・専門職に定例会への出席を依頼しディスカッションを行いました。困りごとを抱えた地域の方が、専門機関や制度へつながった成果も生まれています。



▲行政・教育委員会を交えた座談会『子ども支援機関と連携することで期待できる効果～つながることのできる?～』



会長 崎濱 峯子さん

役場と協力して周知を行ってきた就学援助の申請が、**昨年度よりも増えた**と聞いて、うれしく思っています。

基礎情報:定数22名(内、主児委2名) 事務局:社協 モデル地区取組開始:平成30年8月～  
重要課題:②事務局機能の強化、③地域における民生委員の役割の整理と明確化、④人材育成に向けた研修・交流会等の充実、⑥専門機関との連携強化

## 浦添市第五民児協

# 30分で行える事例検討で民生委員のスキル向上!



### Step1

単位民児協の現状と課題の整理分析

#### 課題の整理・分析

- ・定例会内で行える相談対応事例の検討
- ・他機関との連携
- ・民生委員の役割の明確化
- ・新任民生委員の人材育成

「地域に根差した民生委員活動のために何ができるのか」、「民生委員活動について先輩から後輩へ伝える機会(人材育成の場)が必要ではないか」などについて、定例会で検討しました。



会長 砂川 清徳さん

定例会での**事例検討を重ねる**ことで、スキルや知識を蓄積し、新任民生委員へ伝えるなど、相談活動の強化につなげます。

基礎情報:定数18名(内、主児委2名) 事務局:独自 モデル地区取組開始:平成30年12月～  
重要課題:③地域における民生委員の役割の整理と明確化、④人材育成に向けた研修・交流会等の充実、⑥専門機関との連携強化



## 北中城村民児協

# 役場・社協・民児協の連絡会議で民生委員の役割の整理と明確化!

### Step1~2

単位民児協の現状と課題の整理分析 ▶ 取組むテーマの設定

#### 課題の整理・分析

- ・協議会機能を高めるための定例会の強化
- ・委員の負担軽減を図る関係機関連携の促進
- ・ライカムエリアの開発に伴う委員活動の整理

#### 取組むテーマ



**行政・社協・民児協の  
連携の強化**

### Step3

課題解決に向けた実践・活動

人口増加が予想されるライカムエリアでの民生委員活動のあり方や一斉改選に向けた話し合いをきっかけとして、役場・社協・民児協三者での連絡会議を開催しています。



会長 安里 信美さん

連携ミーティングや定例会を通じて、行政との対話ができる関係が深まってきており、**各民生委員の意識も変化**してきています。

基礎情報: 定数31名(内、主児委2名) 事務局: 社協 モデル地区取組開始: 平成30年8月~  
 重要課題: ②事務局機能の強化、③地域における民生委員の役割の整理と明確化、④人材育成に向けた研修・交流会等の充実、⑥専門機関との連携強化

## 豊見城市第二民児協

# “協議することを意識”した定例会の開催!



### Step1

単位民児協の現状・課題の整理分析

#### 課題の整理・分析

- ・民生委員全員が一体となり単位民児協として取組むことを話し合える定例会の実現
- ・新任民生委員の人材育成

定例会での民生委員同士の情報共有の重要性を改めて認識し、『協議することを意識した定例会』の開催を目指しています。

会長 川井 義喜さん

事務局に頼り過ぎず、地域福祉の核となる**民生委員の役割を再認識**し、意見を出し合い、協議できる定例会の実現に取組ます。



基礎情報: 定数30名(内、主児委2名) 事務局: 社協 モデル地区取組開始: 平成31年1月~  
 重要課題: ②事務局機能の強化、④人材育成に向けた研修・交流会等の充実

# モデル地区集合研修

## ～取組のふりかえりと共有～

とき 平成31年3月4日  
ところ 宜野湾市社会福祉センター

県内7か所のモデル地区民児協からの民生委員、事務局職員に加え、行政職員等、約50名が出席し、各民児協の取組をふりかえり、その経験を相互に共有することを目的とした集合研修を実施しました。

### ～参加者の声～ 研修後のアンケートより

#### 民生委員・児童委員

- 所属する民生委員・児童委員が一体となって意見を出し合い、民児協の取組が話し合える定例会を実施したいと思った。
- 身近なケースを題材とした研修や、新任・中堅・ベテランなどの階層別研修など、単位民児協独自の研修の必要性を感じた。
- 日々の活動を通じたPR活動の重要性のみならず、パンフレットの作成・配布やWebサイトを用いた情報発信など、多様なPR活動の必要性が理解できた。

#### 民児協事務局

- 各民児協とも活動の活性化について、一生懸命取り組んでおり、その取組方がすべて異なっていることが意外だと感じた。
- 定例会で事例検討の場があると、民生委員の考えが深まると感じた。
- 事務局が担っている機能や役割をリスト化するなどして可視化し、民生委員と共に活動を築いていくことが大切だと感じた。



#### 行政職員

- 民生委員の活動に関する理解が深まることで、行政機関等に対する意見具申のはたらきが強化されることが理解できた。
- スクールソーシャルワーカー等、多くの専門機関が設けられたことにより、結果として、民生委員の役割の変化や民生委員と専門機関との連携の難しさが生じていると感じた。
- 民生委員制度が創設されて100年以上が経過している現在でも認知度が低いという事実を受けとめ、認知度アップに向けた取組が必要だと感じた。

## モデル地区支援で得られる「宝」

アドバイザー：篠原 辰二  
一般社団法人Wellbe Design

1917(大6)年の濟世顧問制度、翌年の方面委員規定に端を発した民生委員制度が創設され100年超。時代の変遷と共に子どもや家庭を取り巻く環境、生活様式や地域社会のあり様が大きく変化している一方で、民生委員法第14条に規定される職務、「民生委員のあり方」に変化はありません。

民生委員信条に、“常に地域社会の実情を把握し”とあるとおり、把握した情報を踏まえた特色ある活動を創出すると共に、それらの活動を行政機関や支援機関等の“すべての人々と協力し”機能させていくことが求められています。

モデル地区には共通した課題はあるものの、地域の実情や課題が生まれる背景が異なるため、取組むテーマや取組方には地域性があります。この度の集合研修会は参加者全員が民生委員活動のあり方を再確認する場となりましたが、それ以上に、モデル地区における多様な取組が県内92の単位民児協の活性化につながる「宝」になると感じる場でもありました。

# ≡≡≡ 単位民児協の活動活性化に向けた研修 ≡≡≡

民生委員制度100周年

## 活動強化方策の具体的展開に向けた研修会

とき 平成31年1月18日

ところ 豊見城市中央公民館

平成29年に全国民生委員児童委員連合会から「民生委員制度創設100周年活動強化方策」が示され、「地域版活動強化方策」の策定が提案されました。また、同強化方策は、単位民児協、市町村民児協、県民児協がボトムアップ方式で策定していくこととされています。

研修会には単位民児協会長、副会長、事務局を中心に92名が参加。高崎健康福祉大学の金井敏教授をお招きし、一人ひとりが、これまでの活動をふりかえり、地域の実情と課題を再確認し、重点的に取組むことを話し合うプロセスが大事であることなど、活動強化方策の考え方と単位民児協での具体的な検討方法について学びました。

参加者からは『肩をはずす単位民児協みんなで地域に根差した方策をつくりたい』『地域での実践につなげたい』などの声があがりました。



## 個人情報提供をテーマとした研修会

とき 平成31年2月8日

ところ 沖縄県庁舎4階講堂

地域での民生委員活動において、行政等からの「個人情報の提供」が重要課題となっている中、市町村、単位民児協、県民児協、県社協、県福祉事務所等の民生委員担当者を対象とした研修会を開催しました。

「民生委員は“福祉を目指すチームの一員”、そのために必要な“3つの課題提起”」として、講師の篠原辰二アドバイザーから、①行政との活動目標の共有、②行政との相互信頼関係の構築、③民児協のチームビルディングなどの提言があり、『所管部局が取組まずして誰が民生委員制度を支えるのか?』『情報を出せないのであれば、情報を持っている側が責任をもって課題に対応しなければならないのでは?』といったメッセージが投げかけられました。

その後のパネルディスカッションでは、“行政側のフォローアップ”と“現場からのフィードバック”を実践する那覇市及び那覇市民児連の取組を紹介。信頼関係をベースとした協働の取組を通して、“市町村と民生委員のパートナー関係の重要性”や“行政に求められている地域福祉の充実には民生委員との連携が不可欠”であることなどが確認されました。これに対し、『住民とつながることで適切な支援ができる』『個人情報を求める側、提供する側の目的意識をすりあわせることや、双方が得られる効果をお互いが認識することが“チーム作り”の契機になる』『行政として何ができるのか?自らの市町村における課題が見えた』といった参加者からの声寄せられ、改めて地域福祉のあり方について認識し、共有する機会となりました。



沖縄県民生委員活動活性化事業

平成31年3月

発行 沖縄県 子ども生活福祉部 福祉政策課

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2行政棟3階(北側) TEL:098-866-2177 FAX:098-866-2758